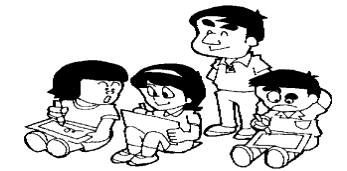


本校の教育目標 「 さとく うつくしく たくましい 生徒の育成」

<めざす生徒像> 学ぶ喜びを持ち、互いに高め合う生徒 広く明るく温かな心を持つ生徒 強い意志を持ち、心と身体を鍛える生徒
 <本年度の重点> ~ 特別支援教育の視点を核にした深い生徒理解の上に、学ぶ力とかかわる力の向上をめざして ~



本年度の重点方針

- | | |
|--|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1 学ぶ力を育て、学力の向上を目指す学習指導を推進します。 2 自己実現を目指す「生き方」指導を大切にした生徒指導と進路指導に努めます。 3 温かい心を育み、社会を「わがごと」とする教育活動を推進します。 4 生徒が健康で、事故の絶無を期した健康・安全指導に努めます。 5 地域とともに歩み、信頼される「開かれた学校づくり」に努めます。 6 心を開き合い、気持ちよく仕事ができる明るく機能的な職員集団をめざします。 | <p>豊かな「わがごとの学び」の確立のため、表現力の向上を根底にすえた授業づくりを学習指導要領の趣旨を踏まえて取り組んでいます。</p> <p>「先輩に学ぶ」「職場体験」・「職業講話」「農業体験」「防犯講話」等を計画し、自他のいのちを大切に育てます。</p> <p>「“前進”～先を見据えて行動」を生徒会スローガンにし、ボランティア活動、運動会・文化祭に主体的に取り組めます。</p> <p>教育相談体制を充実させ、個に応じた支援を推進します。緊急事態を想定し、危機管理マニュアルの確認と安全管理を徹底させます。</p> <p>学校要覧の保護者配布や各種たより、ホームページなどにより学校の教育活動の様子や生徒の活躍を積極的に広報します。</p> <p>日常のコミュニケーションを大切にしながら、職員同士がチームとして協力し、組織的・機能的に行動できるように心がけています。</p> |
|--|---|

教職員の自己評価 (: 達成度おおむね80%以上、 : 達成率おおむね80%未満)

<p><学校経営・重点方針></p> <p>成果 「わがごとの学び」を意識した指導 校務分掌を認識し工夫して職務に専念 保護者と信頼しあえる人間関係の構築</p>	<p><学習面></p> <p>成果 毎時間の授業を大切にした指導 生徒が自分の考えを持てるような授業改善</p> <p>課題 <u>自分の言葉で表現できる生徒の育成</u></p>	<p><生活面></p> <p>成果 いじめや問題行動を予見した指導 生徒の自主自立を育む指導 生徒の気持ちを受け止める指導</p>	<p><健康・安全面></p> <p>成果 習慣となる、給食・清掃の指導</p>
--	---	---	---

保護者からのアンケート (: 実現度おおむね80%以上、 : 実現度おおむね80%未満)

生徒からのアンケート (: 実現度おおむね80%以上、 : 実現度おおむね80%未満)

実現度の高い項目 (A B評価が80%以上)

友達・家族に対する思いやり	中学生らしい健康で元気な生活
学校は教育方針をわかりやすく伝えている	参観する機会を積極的に設けている
基礎・基本が身につく学習指導	生徒会活動による自主自立の精神
生き方について学ぶ体験活動	毎朝朝食をしっかりと食べ登校
中学生らしい服装や頭髪	家族に学校や友だちの話をする
ルールを守り交通安全に気をつけて登下校	

実現度が目標値に達していない項目 (A B評価80%未満)

授業や学習に意欲的な取り組み	家庭学習への取り組み	家庭・地域でのあいさつ
起床・帰宅時間を守る等の生活習慣	家の手伝いをして家族を大切にしている	

評価の高い項目 (A B評価80%以上)

自分の力を高める授業	授業中の主体的な課題解決	
朝学習・朝読書の取り組み	先生は良く聞いてくれる	
意欲を持てる先生方の指導	生徒会活動・学校行事	
清掃活動	力を高める部活動	進んであいさつ
服装・頭髪の約束を守って生活	周囲への思いやりの気持ち	朝食を食べて登校
交通安全を意識した登下校		

実現度が目標値に達していない項目 (A B評価80%未満)

家庭学習・宿題の提出	先生方への悩みなどの相談
自分の考えや意見を発表しやすい学級	

: 前年度の80%未満から、今年度80%以上になったもの : 前年度の80%以上から、今年度80%未満になったもの

今後に向けた課題と取り組み

- 1 生徒一人一人が自分の考えを持ち、自分の言葉で表現できる力をつけるために、引き続き、授業改善と併せて個別指導・個別支援の充実を図ります。また、「学びの自立」を目指して家庭学習の習慣化を図ります。
- 2 学びを「わがごと」ととらえ、さらに、生涯にわたって意欲的に学習する習慣が身につけられるよう、基礎となる中学生期に、魅力ある教育活動を進め、学習に向かう心を育みます。
- 3 機会を逃さないで教育相談を行い、共感的理解に基づいた個々の生徒への生活・学習支援を充実させます。
- 4 学年・学級経営や授業において「新しい学力観」を意識した指導に全職員で取り組み、幅広い思考力と確かな判断力、豊かな表現力を育てます。
- 5 生徒の「自主・自律の精神」を育むために、生徒会活動の充実を図ります。各種行事への取り組みやボランティア活動を通し、社会の一員として社会に貢献する意識と態度を育てます。

